

刊夕日九廿月六



定価 一部全一ケ 送料別
廣告料 五號十二字 行金五拾錢
日曜祭日の空白休刊
発行所 常磐高日新聞社
印刷所 常磐高日印刷株式会社

童話の指導 [二]

寺田喜次郎

◇で、七八歳の相像期にある子供には、どんな童話を與へるべきかと申しますと四五歳の子供の如く日常卑近の経験や事物をもとにした童話よりも全く世界の異つた寧ろ空想世界のものが適して居るのであります。たとへばアラビアンナイトの如きものです。但し此の頃の子供は探究性が強いから相當に理窟に合つたものでないと承知しません。併しその理窟とても大人の見る如き正確さを必要としません。何となれば彼等の知力はまだ頗る薄弱ですから理論的な又科学的な説明を要求しないのです。神話などに於ける事物起源を説明した童話などはこの頃の子供に手頃の理窟であり又興味であるのです。

分この作用を指し、あるのではありません。想像力の啓蒙はやがて情緒の訓練にも推理力の養成にも役立つのであります。私は京都に居ります時に友人達と兒童の讀物として文藝讀本といふ菊版八頁のものを月二回づつ、刊行して居りました。只今では二十頁月一回になつて居ります。その文藝讀本の四年の分だつたと思ひます。菊地寛氏の「三人兄弟」を載せたことがあります。田舎生れの三人兄弟が立身

あとに續き物として残つたのです。話が面白いものから子供はあとの分の来るまで想像して見ます。そして先生に「先生あとはかうなると思ひます」といふ私のかういふ風になると思ひます。といつていろいろ想像を逞しうします。先生も幸か不幸か先をまだ知らなかつたので、さあどうなるだらう位でお茶をにごしておいたのであります。するとどうでせう、第二回が出来た時に讀んで見ると大體子供達の想像した通りになつてゐたのであります。即ち盗賊といふのは一番末の弟で遂に檢非使に捕はれ、お役所で三人兄弟は始めて顔を合せて變り果てた運命を嘆きあふといふ筋なのであります。彼等の想像が的中した時の彼等の喜びは眞に手の舞ひ足の踏む所を知らずといつた有様でした。無理もありません。大小説家の書かうとしたプロットも先生や子供考へた筋道も大差なかつたのです。併し彼等がこれまでに想像した過程を考へて見ますと、勿論彼等は興味によつて動かされたものではあります。彼等は彼等の許す範圍内に於て論理的に推察し且つ藝術的に思考したわけでは

初夏の松ヶ岡 ●

さみだれ上り 淺みどり
衣更えした 遅咲きつしじ
赤い手からで 松ヶ岡
招きますぞへ 春木亭

入浴のサービスもあります
日の丸辨當御持参をも歓迎

松ヶ岡公園 春木亭
電話五一八番

専科 X
線科 上田外科醫院
平町南町
電話一二九番

内科 外科 一般
金成醫院
金成 忠義
平鎌田町(電三五八)

吉田眼科醫院
平紺屋町 電話 六八番
醫學士 吉田久雄

小店員入用
御希望の方は當店迄御出下さい

阿部石炭店
電話三十七番

夏の御飲み物

アイスクリーム アツキアイス
ミルクケーキ 別味 みつ豆
ソーダ水 色々 特製水おた福豆

例年通り始めました
ほどよく香のよい 宇治名産米挽茶、御土産に
好適なクリームモナカも御座います。

平二警察署裏通り
魚清食堂
電話六三三

初夏！
車は走る新緑の中！
微風のごとくスイート走り
三井タクシーの乗心地よさ

是非御用命の程を！

三井タクシー
電話 586 番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

平町南町 電話五一三番

農家の懐を暖に

四倉市場閉場

全国的繭高の波に乗り 白黄種共に稀有の高値

参萬貫餘市場に氾濫

總取引額十餘萬圓

全国的な繭高の波に乗つて去る十八日より閉場した四倉繭市場は二十八日十二貫の白繭取引を最後として閉場したが總取引額は二萬三千八百八十貫四百五十匁、白繭が二萬三千三百三十七貫五百八十匁、黄繭五百四十五貫八百七十匁でこの總取引高は十萬二千六百六十二匁うち白繭が九萬七千三百九十匁、黄繭が九萬七千三百九十匁、黄繭二千六百三十三匁八十九匁に達しその平均相場は白繭高値五圓二〇銭、安値四圓、馴四圓七三銭、黄繭高値五圓二〇銭、安値四圓二〇銭、馴四圓八十三銭と昨年比し

繭市況 (廿七日)

△四倉市場：高値五圓 安値四圓 馴四圓六十五銭
出廻一〇四貫 黄高値五圓 安値四圓六〇銭 馴四圓七六銭 出廻四六貫
△植田市場：高値四圓八〇 安値四圓五五銭 馴四圓七二銭 出廻一五〇貫
△四倉市場(二十八日) 高値四圓四圓五〇銭 安値四圓四圓五〇銭 出廻一三貫

久し振りで共販米 値下りを豫想

東京市場の動きが影響

平農業倉庫は来る七月一日飯米共同販賣を行ふが今二十九日迄に由込敷既に七百一俵に達し居るが東京市場の米價が本廿九日値下りを懸念し居る關係から一日の共販は久し振りで値下りを懸念する模様である

託児所の 保母に感謝

平町九品寺農繁期託児所

開所以來附近農民の感謝裡に男四十六、女三十四、合計八十名、延人員二百二十五名を收容して昨廿八日既報の如く閉所式を舉行したがその際同町北白銀町四二

不漁の濱地方に 果然鯛々々の豊漁

磐城海岸活氣づく

小名濱大敷網は二十六、七十二日間大鯛四千貫、四倉大敷網も二十七七日大鯛二千貫を水揚げしたので不漁に泣いてた當業者は一時に歡聲を擧げたが相場は二十五割から三十割で東京方面に出荷しはばらく振りで活氣を呈したが尙打續き豊漁を見越されるため愈々夏職の威勢のいゝ姿が見られる譯で當地方海岸は一帶に活氣を呈した

消防組頭 けふ會議

平署管内消防組頭會

(既報)平署管内消防組頭會は本廿九日午後一時から平署に開き、評議員二名の改選を行つた外左記事項を附議した

△協議事項石城消防協會無火災表彰規定並に同協會共済會設立
△指示消防施設の春養蠶時の火災豫防海水浴其の他水浴場、溺死者防止、毒草艾除

菅野アイさんは昭和七年同託児所開設以來引續いて保母として盡瘁、功勞顯著なるものあるため社會事業助成會長青沼録太郎氏から記念品を贈呈感謝された

平大浦を筆頭に 千二百二十株確定

郡下信組の引受株數

東北兩社

既報郡下信用組合の東北振興並に興業兩社の株引受に就き各組合では役員會を開いた結果今二十日迄に郡部平大浦等の二百株を最高に總數廿九組合から千二百二十株に達し大體郡部會の豫想通りの成績を見たが各組合の引受數左の如くである

雙中一四、雙中六、相中五	雙中一四、雙中六、相中五
平商一、雙中一、雙中一	平商一、雙中一、雙中一
雙中一、雙中一、雙中一	雙中一、雙中一、雙中一
雙中一、雙中一、雙中一	雙中一、雙中一、雙中一
雙中一、雙中一、雙中一	雙中一、雙中一、雙中一
雙中一、雙中一、雙中一	雙中一、雙中一、雙中一
雙中一、雙中一、雙中一	雙中一、雙中一、雙中一
雙中一、雙中一、雙中一	雙中一、雙中一、雙中一
雙中一、雙中一、雙中一	雙中一、雙中一、雙中一
雙中一、雙中一、雙中一	雙中一、雙中一、雙中一
雙中一、雙中一、雙中一	雙中一、雙中一、雙中一
雙中一、雙中一、雙中一	雙中一、雙中一、雙中一

平商遠征取止 既報平商野球部は七月五日水戸に遠征水中水商と各對戦する筈であつたが先方の都合に依り取止になつた

防空演習打合

大井川平商佐藤の兩配屬將校は今明の二日間福島縣隊區に開かれる今秋全縣下に亘り行れる防空演習打合せに出席の爲めに出張した

教務主任視察

教育會第三區各校の教務主任十四名は来る千葉方面の教育視察の爲め来る二十日朝出立したが明廿日歸平する

職員研究發表

三小學校は本廿九日職員の綴方書方の研究發表を行つた

田人信組 準備進む

既報此程設立認可となり組

平商惜敗

七月二十五日平商、平第一兩球場で行ふ筈であつた郡下教員の野球大會は都合に依り七月十二日に繰上げ行ふことになつた

平青年團 幹事協議

平青年團は此程幹事會を開き來年度縣社

佐藤平局長 會議に出仙

佐藤平局長は七月十三日より三日間仙臺通信局に開かれる同管内一、二等局長會議出席の爲め十二日川仙する

縣道改修陳情 入遠

野村大字大平地内平水田線

目前に迫る

共倒れの運命

競争激化の乗合業者が

柴田署長の勧告で懇談

去る廿四日柴田平署長の幹旋を無視して湯本町鈴木自動車部が料金引下げを行つたことから端を發し翌二十日五日から未曾有の安料金全區間十錢に引下げ五營業者が俄然猛烈な客の争奪戦を演ずるに至つた平、湯本間乗合自動車異變に就いて當初より事態を憂慮して居た柴田平署長は之等五營業者の競争激化より事故發生の危険を防止するため本廿九日午前十時、尼子(平)薄葉(綴)鈴木(湯本)坂本(同)矢

内(同)の五營業者を招き更に徹底的統一を懇話すると共に共同經營の点にまで言及したが共同經營の点に就いては結局種々の利害關係が伴ふため次回の會合を期して何等かの具體的な現れとなる模様で營業者としても現在のまゝの料金で競争を繼續することは到底至難であり何等かの解決案が協議されるものと見られてゐる、尙右に就いて柴田署長は語る

料金の安いことは非常に

四縣を股にかけ 窃盗行脚の六犯男

同宿人を欺いた揚句逃走 平町へ来て逮捕

(既報)過日平町松ヶ岡公園地内徘徊中舉動不審で菊地部長刑事等に逮捕された湯本町字水之谷強盗前科六犯馬上量平(○)は取調への結果、去月十六日懲役六年を終つて千葉刑務所を出所を了へて千葉刑務所を出所高利貸の手代を稱して東京市淺草區山谷町谷屋支店に投宿中相客の富山縣人本田正雄(○)に取入り

バスの後方に

蝙蝠の如くさがり

只乗り少年捕わる

上遠野村生熊谷圓三(○)假名は廿七日午前十一時頃相馬郡原町署に逮捕され取調べを受けてゐるが

圓三は七才で實母に死別して以來、繼母の虐待から悪に染まり實家を飛び出しては無銭乗車で各地を流浪行先々で神出鬼没の現金専門の賊を働き同日も仙臺方面へ行つて一稼ぎせんと平町から中村町行き自動車の中に忍び込み発見されるや今度は蝙蝠の如く自動車の下にぶら下つてロカ乗りを行ひ降り立つた處を舉動不審で逮捕されたものである

國旗箱を

各戸に寄附

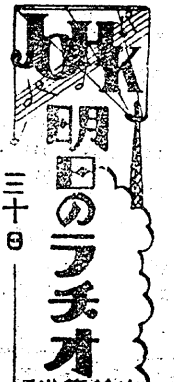
平町新川町自轉車業フタバ

患者の枕元から

財布を盗む

見習中の出來心

平町南町某産婆看護婦學校見習生双葉郡大久村字小久薬谷拾世(○)假名は去る廿五日午後三時頃附近の大森醫院に入院中の平町十五町



明日のラジオ

今晩は南の風雲 一時晴明日は南西の風雲後驟雨模様

今晩の部

- 後六、〇〇 子供時間
- 吹奏樂仙臺ブラスバンド
- 後六、二五 基礎英語講座
- 鹽谷榮
- 後七、三〇 講演「風俗より觀たる南洋」東北帝大教授醫學博士長谷部言人
- 後八、〇〇 管絃樂交響曲「畫家マチス」日本放送交響隊
- 至難でないと思はれる

明日の部

- 前六、三〇 基礎フランス語講座 丸山順太郎
- 前七、〇〇 小澤真氏はこの程同町青年團の手を経て國旗箱二百個を町内各戸に配布奇特なこの志に感激した同町青年團では近く感謝狀を贈呈することになった

漁業法の

注意書配附

磐城炭礦勞務課では既報の如く漁業法取締り法改正規則に伴ひ、夜つき、川渡ひ等が禁止されたので勞働者中誤つて法にふれる者があつてはならぬとの程注意書を配布した

大寶寺の

總代改選

平町大寶寺檀家總代の改選は廿四日執行、左の諸氏が當選した

大谷久藏(三町目)石坂詮太郎(田町)直木隆四郎(播磨小路)佐藤久吾(田町)市原卯太郎(播磨小路)井上茂作(五町目)會川延太郎(久保町)

トラ助手

無免許運轉 他縣で發見

小名濱町自動車運轉熊次郎方運轉手林福雄(○)は二十六日午後一時頃トラツクに鮮魚を満載茨城縣鹿島郡波野村地内を無免許で運轉中鹿島縣員に發見取調せられたが運轉中白土庄治(○)も幫助罪として取調せられた

一家三名家出

郡山市大町自轉車業片岡庄次郎

平町人事

- △出生
 - △四町目一六當時伊達郡保原町字一町目一九小齋輝三郎氏二男智弘さん
- △結婚
 - △茨城縣多賀郡川村大字長津田八五秋中彌氏(二八)白銀町一五田中マサヨさん(二二)
- △回死
 - △鐵治町三一當時樺大真岡郡菊泊村大字羽田看字羽田看澤四一吉田尚文さん(二〇)
- △古銀治町三八當時四倉町字本町八四高野比佐之助氏(五五)

繞る瓦解の謎

(読上以上)

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(書)

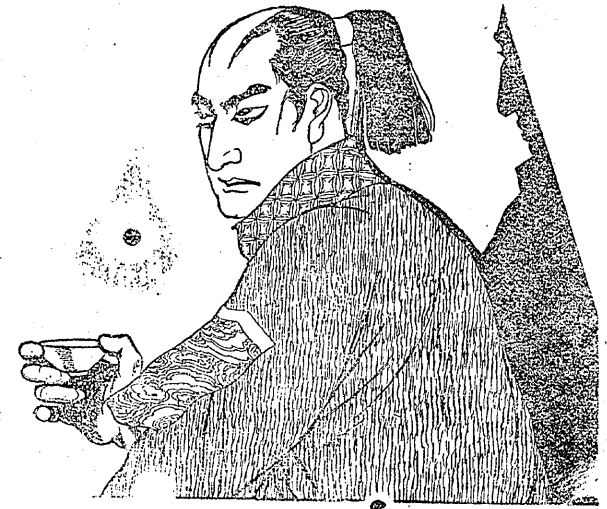


一五九 やせがまん
土井伊織は盃を乾して中
村半次郎にさし
伊「上野に居る彰義隊は宮
様を警護いたすため、かつ
又徳川累代の墳墓の警衛を
もいたし居る、しからば戦
をいたすは望みではござら
ぬ」

魂であらうが、勝安房殿は
徳川家後継のためとまた江
戸市民のためを思ひ大参謀
の西郷殿に哀訴して總督の
宮様へ宏大なる慈悲によつ
て江戸城を開けわたし、將
軍慶喜公の危急をすくひ居
つた、さすれば御身が上

中「しかし、官軍を見ると
これを悪魔のごとく思はれ
暴行のみいたす、これでは
戦ひになるであらう、まづ
成行きにまかせておくかな
かう血なまぐさき風が吹き
荒むやうにてはこの江戸も
焦土となることもあらうが
それがまことに残念ぢや、
官軍に抵抗いたしては彰義
隊も朝敵の汚名をうけすば
なるまい、よつて今の中に
解散をしては何うか」
伊「武士には意氣地があり
ますよ、田舎侍は知らぬこ
と江戸の武士には意氣地が
ござる、かういふ場合にの
ぞみましては戦ひの名義
または勝負などは論じませ
ぬ、朝敵となるともまた彼
山にて死ぬるとも武士とし
てははづかしからざる最後
をとげるを本望に存じま
す」
中「ソレも、それも立派な

野にたてこもり官軍を敵と
して戦ふは戦に何等の名義
もなくたゞ慶喜公のおぼし
めしにもそむきしこと、思
ふが」
伊「仰せ御もつともには存
じますがそれが武士の意氣
地と存じます」
中「あくまでもやせ我慢を
しをるか」



といつて中村半次郎はカ
ラカラと笑つた、その時に
伊織が
伊「武士にはやせ我慢は尊
いものでござりますよ」
といふてこれも笑つた
これについてお話し申すこ
とがある。
明治時代になつて福澤論
吉先生がやせがまんを題し
た論文を書いて勝海舟先生
のもとにおくりました。こ
の内容は江戸城を明け渡しし
たことについて大いに批評
したものです。サラリと江
戸を明け渡したは先をよく
見た行爲であつて時機に適

等の回答もしない、これに
よると福澤先生は熱血男子
であつたに相違ない、今伊
織もやせがまんは武士の意
氣地だといふ、中村もこれ
を聞いて
中「さうかの、イヤ貴公は
立派な魂を有して居られる
今日は貴公と共にこゝで盃
をあけて快談いたし居るが
一朝敵とならば砲火の間に
死生をあらそはねばならぬ
武士はつらいのう」
といひました、果して
上野開戦の當日伊織は黒門
口より薩州の先鋒隊に切り
込んだ、時にこの議論を聞
いてゐた櫻川半平
半「大分やがましいことを
いひますな、お酒を飲みな
がら戦の話はやほじすよ、
こゝへ藝妓を呼んでお座敷
を陽氣にいたしませう」
とこゝで半平が周旋して
藝妓をあげ、座敷をうかせ
た、藝妓は伊織の美しいの
に見とれてゐる、中村半次
郎もこの伊織は稀なる美男
これに剣法に達し居るとは
珍らしいこと、思つた。
伊織はこれに長く居ると
女といふことを発見される
であらうとそこで別れをつ
げ半平と共に萬梅を出て上
野にもどつた、中村半次郎
はこれから吉原に参つて一
夜愉快をしてこれも翌日池
上本門寺の官軍の本營にも
どつたが、土井伊織の優美
なる態度に大いに感心した
ところ、彰義隊對官軍の間
はますゝ險惡になつて來
ました。

7月18ヨリ7日間

三井呉服店の夏衣大賣出し

涼味溢る、夏の御召物、京呉服、ジヨゼット、中形全店夏の商品豊富大特賣

- | | | | |
|-----------|--------|----------|--------|
| 本染ミスリン着尺 | 金貳圓五十錢 | ホロカヤ | 金參拾錢 |
| パラマウンツ着尺 | 金貳圓五十錢 | 呂九 | 金參圓五拾錢 |
| 呂男 | 金貳圓五十錢 | 絹麻小紋 | 參圓 |
| 手拭浴衣地 | 金七拾錢 | 絹ボーラ | 金六圓五拾錢 |
| 名古屋帯(仕立上) | 金壹圓 | 夏掛フトン仕立上 | 金壹圓六拾錢 |

御贈答に答へる御重寶な商品券

御中元贈答用品大奉仕
御格恰な御値段の商品が豊富
に入荷致しました如何様にも
承ります
婦人俱樂部掲載總額萬圓大懸賞付
千代きぬ明石大賣出し
本染中形陳列會
雑貨洋品部新設
御子様方のハンツ、夕オ
ル製品、既製品服地など
新製品豊富に取揃へ大
奉仕
かや大賣出し
ほろかや綿、本麻かや、
白かやの別選品を大々的
大廉賣致します

町 平
店 服 吳 井 三
番 四 八 二 八 三 話 電

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

新發賣一文字帽

絶体日焦けせず 雨にも丈夫な
いつも新らしい 實用新案帽
エバー・ニュー・ストロー
四菱編 五〇ヨリ
支那麥編 六〇ヨリ
お電話次第御覽に入れます
田町通

玉屋洋品店

電話六五九番

久全屋商店

磐城セメント會社特約店
磐城平町五丁目 電話九九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は生命なり